



青春不再来

「青春不再来」は、大廊下に掲げられている木彫の言葉です。

「学習、生徒会、部活動などに、生徒は一生懸命です。悩んでいる生徒もいます。でも、どの生徒も、かけがえのない中学校生活を精一杯生きている。」という意味です。

新たな伝統をつくりだす



校長 大 塚 啓

先日までは、「今年は雪が少なくて楽だね～」と喜んでいたのですが、2月に入って短期間にどっさりと降ってしまいました。特に山沿いは 道路状況も大変だろうと心配しております。児童・生徒の通学路における安全確保へのご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

さて、一年間のまとめの時期となりました。先日は、第2回生徒総会が開催されましたが、生徒会が作成した議案書には、令和6年度の活動の反省が次のようにまとめられていました。その一部を紹介します。

○挨拶活動は、「自分発信」を意識し、これまで以上に活性化した。「さわやかな挨拶 柿中」を今後も継続したい。

○柿崎時代夏まつりでは、有志で前日準備や当日の水鉄砲大会の役員を行った。夕方の鉄砲隊のイベントには、2年生3名がゲストで出演した。地域に積極的に協力できてよかった。

○合唱コンクールでは、新しく全校合唱を取り入れることができ、とてもよかった。

○教育期に合わせた「生活向上キャンペーン」は、各学年の行動目標を設定し、生活向上に努めたが、広報が不足していた。

このほか、各委員会においても様々な反省がありました。大人と違って、生徒たちは、初めての中1、中2、中3時代を順々に迎えていきます。活動がうまくいかなかったからといって、もう一度その学年をやり直すことができません。このように、生徒は、かけがえのない日々を送りながら、その反省を後輩に託して生徒会の伝統が築かれていくのです。

多くの保護者、地域の皆様から支えていただきながら過ごしてきた3年生も、間もなく卒業を迎えます。3年生には、自分たちらしく、胸を張って卒業式を迎えてほしいと思います。新たな挑戦とその反省を受け継いだ2年生、1年生は、先輩から託されたことをもとに、新たな柿中の伝統を作り出してほしいと思っています。

令和6年度もあと1か月余りとなりました。これからも柿中生への熱いエールをよろしくお願いいたします。

令和6年度生徒会 ～今年度の振り返りと今後の展望～

1月31日（金）午後、第2回生徒総会と新旧役員の引継ぎ式が行われました。また、総会に先立って各学級で行った議案書審議では、今年度の取組を踏まえた質問や提案がされました。

各学級から出された質問や提案（一部）

球技大会はドッジボールだったが、苦手な人もいるので、みんなが楽しめる種目にしてはどうか。

全校はみがきウィークをしてみてもどうか。

新しい本が入った時はタイトルを放送で流してはどうか。

朝のあいさつ運動にもっと人が集まるとよいと思う。

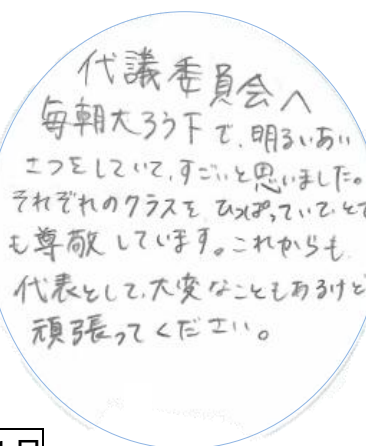
第2回生徒総会の様子



このほか、「来年度も新しい挑戦や行事をするのでしょうか？」という鋭い質問も出されました。これに対し、今年度の役員からは「新しい挑戦に取り組むよう引き継ぎたいと思います！」との回答がありました。新たな挑戦を大切にしようという気構えが生徒会の中に根付きつつあるようです。

代議員会による新たな取組 1月28日

柿中では、週1回、学校生活の中で感じた人の頑張りを認め合う活動を行っています。生徒会を引継ぐにあたり、代議員会から「各専門委員会の活動を認め合う機会を設けよう」との提案がありました。印象に残った委員会活動の取組に対するメッセージを全校生徒で書き、廊下に掲示しました。書かれた内容からは、各委員への感謝を表すコメントがいくつもみられました。

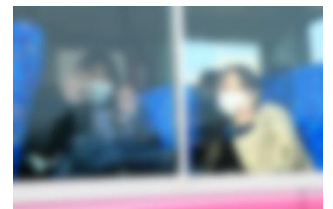


生活委員会による新たな取組 1月27日～1月31日

生活委員会は、卒業まで残りわずかとなった3年生と1・2年生とのコミュニケーションを図り、明日も元気に過ごそうというメッセージを伝えるために1月末に「さようなら あいさつ運動」を行いました。



これまで、あいさつ運動は毎週、火曜日の朝、代議員が取り組んできましたが、下校時に行くことはありませんでした。今回の活動を全校に紹介する際、生活委員長は「さようならと言われたら、笑顔で返してくれたらうれしいです」と呼びかけました。多くの生徒がこの言葉に応え、すがすがしい表情を見せながら、笑顔で下校していきました。



年度末は、1年間の活動を「閉じる」ことで、新たな試みの可能性を「開いていく」大切な時期です。この春、色とりどりの可能性が花開くことを願っています。

各種表彰

◇第2回後期柿崎杯 中学校女子1年生バレーボール交流会 優勝

◇第41回新潟県中学生インドア大会 女子の部 第2位 小山 瑞月
袁輪 愛奈

◇令和6年度競技優秀者賞 ※上越市スポーツ協会からの表彰

硬式テニス 相澤 勇志 (令和6年度新潟県中学生テニス選手権大会 男子ダブルス第1位)
小松 暖和
女子団体 (第35回北信越中学生テニス選手権大会 女子団体2位)



令和6年度学校評価の結果 ～前期（7月）と後期（12月）の比較より～

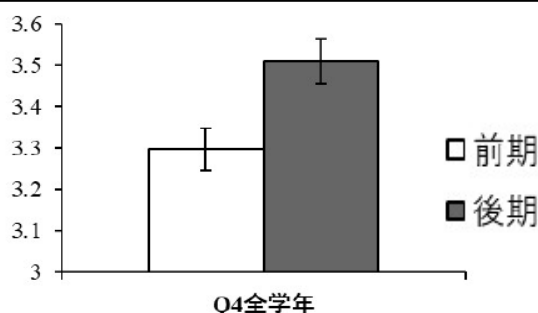
各回答の平均値（最小値0～最大値4）のなかで、意味のある変化*が確認された項目のみ掲載します。

※「意味のある変化」とは…前期と後期の回答の平均値を比較して確認された変化が、一部の人の回答が極端に変わったことによってではなく、多くの人の回答が変わったことによって生じたものを意味します。

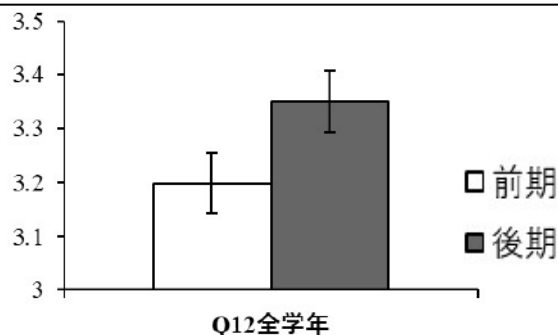
生徒アンケート

○全校生徒の平均値を比べた時に確認された変化

「Q4 授業では進んで友達と学び合って考えを深めることができる」…**増加**



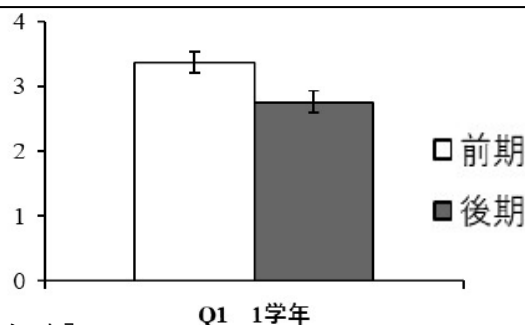
「Q12 学校生活の中で、少し難しいと思えることにも挑戦しようとしている」…**増加**



○各学年の平均値を比べた時に確認された変化

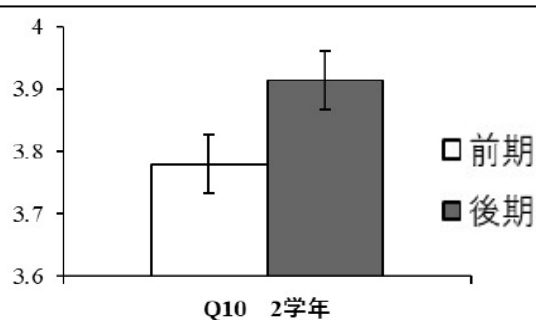
[1年生]

「Q1 平均すると1日当たりどれくらい勉強していますか」…**減少**



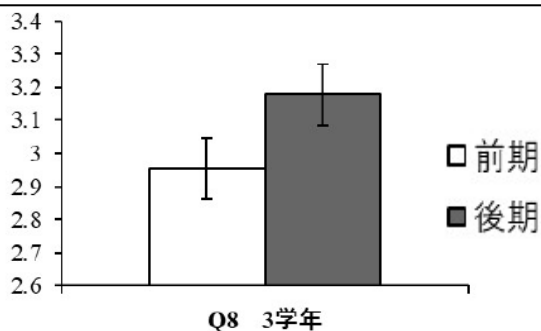
[2年生]

「Q10 差別をしない、させないという気持ちをもっている」項目…**増加**



[3年生]

「Q8 学校生活をよりよくするために、互いのよさを理解したり、課題解決の方法を進んで話し合ったりしている」…**増加**



【生徒の学校評価より】

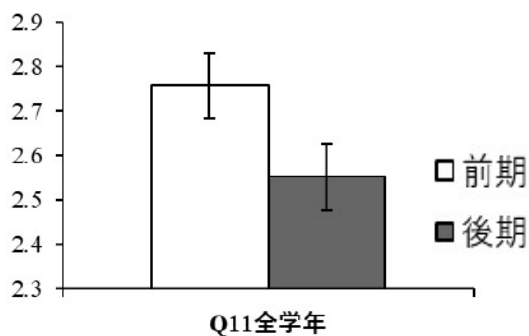
「友達と学び合いながら考えを深めた」「少し難しいことにも挑戦しようとした」の項目で肯定的回答が増えました。要因の一つに、総合的な学習の時間など様々な場面で対話的な学習に取り組んだことが考えられます。今後もこうした取組を大切にしていきたいと思います。

また、家庭学習の習慣を確立するために、フォーサイト手帳の有効な活用方法なども検討する必要があると考えています。

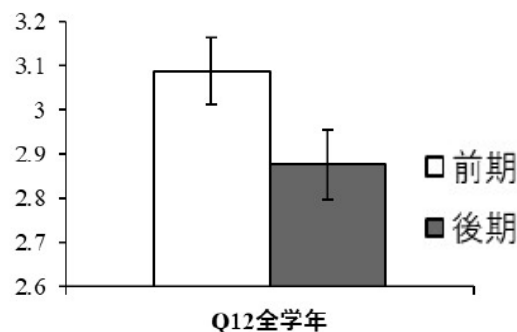
保護者アンケート

○保護者全体の平均値を比べた時に確認された変化

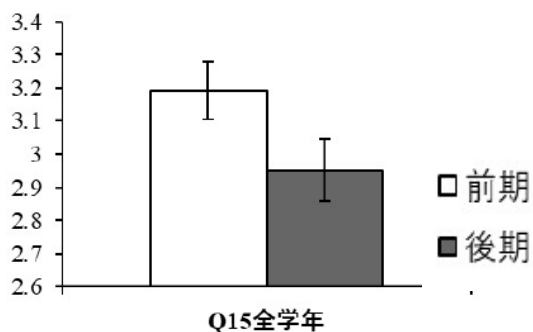
「Q11 お子さんは、地域の活動や行事に関心をもち、話題にしたり
進んで参加したりしていると思いますか」という項目…**減少**



「Q12 お子さんは、『早寝、早起き 朝ごはん』を心がけ、規則正しい
生活を送ることができていますか」という項目…**減少**



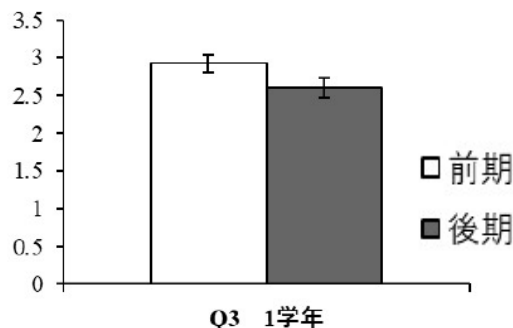
「Q15 お子さんは、体力の向上を目指し、努力し
ていると思いますか」という項目…**減少**



○各学年の平均値を比べた時に確認された変化

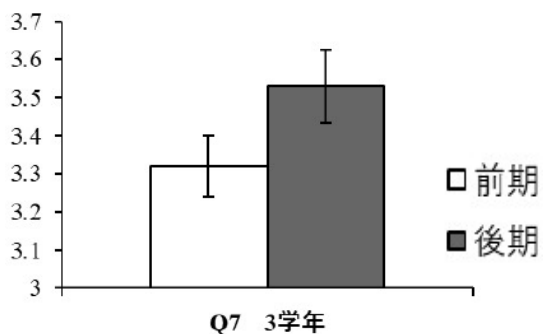
[1年生 保護者]

「Q3 お子さんは楽しく授業に参加している様子は
うかがえますか」という項目…**減少**



[3年生 保護者]

「Q7 お子さんは、いじめや差別をすることなく、公平な気持ちや
態度で周囲の人と接していると思いますか」という項目…**増加**



【保護者の学校評価より】

休日の部活動が減少し、地域移行が進む中、休日の過ごし方が大きく変わりつつあります。そのことが、回答に表れたとも考えられます。今後、食事や睡眠、健康増進のための取組など、自己管理の力が大切になると考えられます。

また、地域行事への参加については、生徒一人一人の「参画意識」を促すために、生徒と地域の方との間で意見を交わす機会を大切にしたいと考えています。